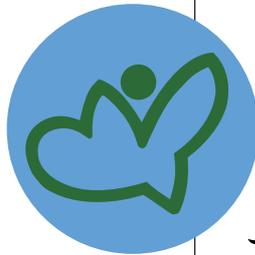




テープカット

大崎上島消防署



3月定例会/目次

| | | | | | | |
|-------|---------------|---------------|--------------|-------------|----------|-------|
| 議会の動き | 委員会報告 | 委員会視察報告 | 一般質問 | 予算審議 | 平成19年度予算 | 3月定例会 |
| 16 | 14 ~ 15 | 12 ~ 13 | 6 ~ 12 | 4 ~ 5 | 3 | 2 |

おおさきかみじま 議会だより

第16号/2007年5月2日

大崎上島町議会

☎ (0846) 65-3130 (直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail:gikai@town.osakikamijima.hiroshima.jp

3月定例会

平成19年第1回大崎上島町議会定例会は、3月7日から23日までの会期で開きました。町長の所信表明を受け、活発な議論のやり取りが行なわれました。この定例会では、平成19年度一般会計予算、11の特別会計予算をはじめ、条例改正、18年度3月補正予算など多くの議案を審議しました。提案された条例、予算等については全て原案どおり可決されました。

3月定例会で決まった主なこと

条例関係

- ・大崎上島町副町長定数条例
地方自治法の改正により、助役を副町長に改め、定数を1名とする
- ・大崎上島開発総合センター条例の改正
- ・町税条例の改正（前納報奨金の廃止）
町県民税・固定資産税の一括納付の報奨金（割引き）を廃止する
（町県民税は平成19年度課税から、固定資産税は平成20年度課税から適用する）
理由：給与所得者はこの制度を受けられず、また経済的に余裕のある納税者しか利用できない不公平感を解消するため

意見書

- ・安心・安全な公務・公共サービス拡充を求める意見書
医療や教育、福祉、雇用に対する財政保障を行うこと。中山間地、過疎地、高齢者地域などに対してその自治体の課題に応じた施策を保障していく。地方交付税のあり方を今後も厳守していくこと。
- ・「最低賃金」の改善を求める意見書
広島県の最低賃金額は654円という非常に低い額で設定しています。社会全体の中でワーキングプアと呼ばれる働けど働けど生活することがおぼつかない、こうした労働者が生まれています。時間額を1,000円程度に引き上げ、地方の活性化を図ります。
- ・「労働法制」改悪の中止を求める意見書
ホワイト・イグゼンプションの導入や裁量労働制の見直しは、長時間過密労働の実態を深刻化させ、過労死などが増えていく可能性もあるということから、労働者が働くことに生きがいを求められるような労働環境を整える。

請願

- ・『垂水区養殖場埋立計画』の即時中止請願書採択
広島県土砂処理に関する条例、広島県土地開発指導要綱、15の適用除外、地すべり防止法、環境基本法定義第2の2、第2条の3、環境基準第16条、文化財保護法、その他いろいろ審査した結果、全員で採択しました。

平成19年度一般会計

80億3529万1千円

歳入

(単位：千円)

| 区 分 | | | 19年度 |
|------------------|----|-----------------------|-----------|
| 財 源 内 訳 | 1 | 町 税 | 15億3205万5 |
| | 2 | 地 方 譲 与 税 | 5328万2 |
| | 3 | 利 子 割 交 付 税 | 251万0 |
| | 4 | 配 当 割 交 付 金 | 353万1 |
| | 5 | 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | 302万5 |
| | 6 | 地 方 消 費 税 交 付 金 | 9278万7 |
| | 7 | 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | 2942万0 |
| | 8 | 地 方 特 例 交 付 金 | 946万7 |
| | 9 | 地 方 交 付 税 | 24億7000万0 |
| | 10 | 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 90万4 |
| | 11 | 分 担 金 及 び 負 担 金 | 1億2584万0 |
| | 12 | 使 用 料 及 び 手 数 料 | 8170万6 |
| | 13 | 国 庫 支 出 金 | 5億6763万6 |
| | 14 | 県 支 出 金 | 3億9280万1 |
| | 15 | 財 産 収 入 | 1777万0 |
| | 16 | 寄 付 金 | 6 |
| | 17 | 繰 入 金 | 8億8439万0 |
| | 18 | 繰 越 金 | 1 |
| | 19 | 諸 収 入 | 1億2946万0 |
| | 20 | 町 債 (借 入 金) | 16億3870万0 |
| 歳 入 合 計 | | | 80億3529万1 |

歳出

(単位：千円)

| 区 分 | | | 19年度 |
|---------|-------------------|--|-----------|
| 1 | 議 会 費 | | 9413万8 |
| 2 | 総 務 費 | | 9億3757万4 |
| 3 | 民 生 費 | | 15億3330万1 |
| 4 | 衛 生 費 | | 9億5447万6 |
| 5 | 労 働 費 | | 1500万0 |
| 6 | 農 林 水 産 業 費 | | 5億6851万8 |
| 7 | 商 工 費 | | 9335万0 |
| 8 | 土 木 費 | | 8億4988万8 |
| 9 | 消 防 費 | | 3億4083万5 |
| 10 | 教 育 費 | | 10億7238万6 |
| 11 | 災 害 復 旧 費 | | 63万3 |
| 12 | 公 債 費 (借 入 金 返 済) | | 15億7219万1 |
| 13 | 諸 支 出 費 | | 1 |
| 14 | 予 備 費 | | 300万0 |
| 歳 出 合 計 | | | 80億3529万1 |

特別会計予算 (単位：千円)

| | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 国民健康保険事業 | 14億7342万4 | 漁業集落排水事業 | 1億3115万1 |
| 介護保険事業 | 12億5916万8 | 港湾管理事業 | 1467万2 |
| 老人保健事業 | 19億8942万6 | 漁港管理事業 | 457万3 |
| 簡易水道事業 | 7億1860万7 | 交通事業 | 6179万1 |
| 公共下水道事業 | 5億1577万8 | 干拓地管理事業 | 1億3293万6 |
| 農業集落排水事業 | 3516万0 | | |

主なやりと

問 町職員の人材育成基本法を出す前に専門職等の育成をすべきでは。

答 求められる職員像、個性のある人材育成します。

問 矢弓の集会所（250万円）の修繕改修で設計費は50万円ですが、見積入札すれば安くなるのでは。

答 設計図面が紛失しており、図面を作成し安く設計施工します。



矢弓集会所

問 ヘリ基地の誘導路のコンクリート舗装を。

答 できるだけ早く整備します。

問 若者定住者が出来る方

向に転換すべきでは。

答 人材育成と他地域との交流推進を目的とした補助金です。

問 地上デジタル放送受信状況調査（100万円）は、町内電気屋などに相談すべきでは。

答 安く調査ができるような方法を検討します。

問 FTTH上位回線ルーター（307万円）で高速化は多くの人は高速化を求めている。長時間使用する人に約款変更や新規加入工事費を安くすべきでは。

答 長時間使用は迷惑がかかる。十分検討します。

問 介護度1以上の人の施設待機者130数人いますが、対象者に現状と入所見込みの説明を。

答 施設は家族へ結果を報告しています。

問 火葬場の運営改善と身障者用トイレ設置を。

答 運営を改善し、トイレ

運営を改善し、トイレ

は検討します。

問 総合健診時、待ち時間解消努力を。

答 検討します。

問 道路維持の①小規模生活環境整備事業と②凍結防止剤配布の周知を。

答 区長会等を通して事業の内容等を説明します。

問 NHK受信料や住宅管理手当を支給している所があるが、旧町で違いの調整を。

答 合併後の調整事項ですが、できていないので調整します。

問 白水港のドアは強風時指が挟まれる恐れがあるので早期改修を。

答 今年度検討します。

問 海と島の歴史資料館、ジオラマと大扉改修の業者の瑕疵は。

答 パソコンは湿気に弱いので、換気扇を設置します。瑕疵担保責任は、契約書の内容等をよく精査します。

問 地方交付税の制度が変わり、多くの町は減額となったが、わが町は増額した。その理由は。

地方交付税の制度が変わり、多くの町は減額となったが、わが町は増額した。その理由は。



白水待合所

問 新中学校校舎の風通しは。高潮対策は。

答 エアコンを設置する。片浜地域全体が低いので学稼だけ上げても効果がありません。



大望月邸

わが町の予算

問 人口、面積を主に考え、小規模ほど削減率が大きくなるが、地域特性を加味した結果増額となった。

問 視察に行った小野市の入札率は70%です。監視体制を強化し入札率改善は。

答 どの程度の落札率が適正なのかというのは本当に悩みの種です。指名審査委員会の中で入札制度を検討します。



イノシシのわな

問 有害鳥獣類の駆除、成果と鶉の駆除を。

答 06年イノシシは287頭、タヌキは3頭、カラスは241羽です。鶉の駆除は県と協議検討します。

問 今年度税源移譲で4,400万円増額したが所得譲与税で7,000万円ほど減額になったが。

答 税改正で国税が減って地方税がふえるが、大崎上島町は納税者数が増えないので地方税は増えない。

問 町舎清掃委託等は議論しているか。

答 身の回りの清掃は自分たちでします。

問 電子申請の委託料(1,990万円)の後年度負担と利用価値は。また県から脱退は可能か。

答 どこでも申請できる。9項目申請を増やします。脱退が可能か検討します。年間400万円負担がある。

問 人権対策協議会の中で啓発と意識調査をおこなうが、その後の啓発体制は。

答 人権問題の住民意識調査と分析を実施します。予算は少ないので検討します。

問 町財産を届出もせず使っているが。

答 町の工事のため免税にします。今後見直します。



大崎浄化センター

問 税金等滞納は各課対応を。

答 その都度督促します。

問 公共下水道施設管理費(1,600万円) 将来的の施設管理費と競争入札は。

答 大崎浄化センターを管理委託(790万円) 将来は倍額近くになる。島内には技術管理者を持つておる業者は1業者しかないので随契しています。今後検討します。

問 農集と漁集の加入率は。

答 2月28日現在で、公共下水道は539戸供用開始で45%加入。農集は237戸供用開始で52%加入。漁集は432戸供用開始で27%加入です。

問 中継ポンプ施設委託費は。

答 魚業集落は17カ所、農集は19カ所、公共下水が8カ所で1箇所月5000円です。



中継ポンプ



一般質問

町政を問う

問 施工工事の遅延の原因について

答 問題点の指導認識を十分指摘します



議員 信谷 俊樹

質問（信谷議員）

産業・建設委員会でも指摘してきた、設計管理業者について質問します。

①管理設計金額を何%以内に考えているのか。

②施工に問題点が出たとき、協議になかなか出席せず、対応が悪く施工工事に遅延が出ている。

③こういう業者に対しての対応はどのようにしているのか？ペナルティーを与えるべきではないのか？何もなかったような顔をして、次の入札・仕事をしているが。

問 体罰と教育の違いは

答 長時間の肉体的苦痛は体罰です

質問（信谷議員）

①体罰と教育の違いを事例を出しながら説明して下さい。

②いじめ被害者に対しての対応はよく聞きますが、加害者に対しては、どのような対応をしていますか。

答弁（教育長）

①長時間の肉体的苦痛は体罰ですが教職員が児童に

対して対応策の総合的諸条件を考え肉体的苦痛を与えるものでない限り、通常は体罰には当たりません。

①いじめについては、一定期間ほかの児童生徒と異なる場所で特別な指導計画を立てて、保護者に説明し出席停止を含め指導していきます。

問 2階部屋で対応が出来ないのか

答 災害時の対策本部待機場所です

質問（信谷議員）

本庁役場車庫の改築がなぜ必要なのか。

①入札部屋が必要なので車庫を改築することだが、2階を利用してはどうか。

②緊急物資の保管場所と

なっていますが、手狭となった部分をどこで対応するのか。過去に何度も指摘してきたが、本所の3階を整理整頓して緊急物資保管場所にしてはどうか。

答弁（総務課長）

①災害発生時における対策本部として使用していません。2階のフロア部分は職員労働組合の事務所や休憩室に利用しています。

②3階の倉庫、文書庫の煩雑については、各課で責任をもって整理し、緊急物資保管所を確保していきます。

問 中高一貫教育体制の実現は

答 研究を進めています

新中学校の教育計画は進んでいるのででしょうか。

統合によって、連携型一貫校の実現を目指すべきと思うが、どう取り組むのか。

答弁（教育長）

以前から指摘を受けている課題であり、現在、大崎中学校と海星高校で連携中。課題とメリットについての研究も進めています。

今後2年間で、連携の実績を上げながら、県の指定に向け取り組みます。



なかむら しゅうじ 議員
中村 修司

質問（中村議員）

3 中学校統合に向けて準備が進められていますが、

問 公共事業入札制度改革の方向性は

答 地域振興との調和を含め方針を定めたい

質問（中村議員）

公共事業の不正が頻発する中、指名入札から一般競争入札への移行が進みつつあります。

今後の改革の予定は。

また、昨年の公共事業入札率はどの程度か、他市町との比較を含め説明を。

答弁（町長）

談合問題などの課題に対し、国土交通省で指針が定められる予定。それを受けて、島地域として地域性をどう生かすかという兼ね合いの中で考えたい。

町の年間の入札率は、平均約95%で、県内9町では90〜95%が平均。

問 専任担当者を配置し、定住促進の取り組みを

答 4月以降の体制で取組みたい

質問（中村議員）

定住促進の取り組みが進捗しないのは、具体的な人

的配置が明確でなかった事が要因となっているのでは。専任の担当者を配置し、全力で取組む体制の構築を。

答弁（町長）

指摘のとおりです。各課のたらい回しとならぬよう、4月以降の体制作りの中で、事務分掌の規則に明確にした上で取組みたい。



給食センター

再質問（中村議員）

入札率の高さの問題だけでなく、発注者と業者のけじめや、公平性や透明性、また、業者の育成指導などの取り組みが必要では。

再答弁（町長）

なれ合いが抜けきれていない部分もあり、今後、業者選定委員会の中でも十分議論を尽くしたい。

問 「食育」を基本とした学校給食の提供は

答 地元食材の活用も含め取組んでいます

質問（中村議員）

学校給食の役割が、大きく変わっている。食育を基本とした給食提供はどう実施されているか。また、学校統廃合に伴って給食調理場や給食センターの在り方も論議が必要となるが、どう考えているか。

答弁（教育長）

地元の食材を提供するよう心がけ、生産者や提供者、栄養などの説明に取組んでいる。栄養教諭の資格取得も取り組み中。

食育の面から、給食センター等の統合はメリットがなく、今の時点では、統合の計画はありません。



本庁役場車庫

問 高速艇減便の対応は

【答】 おと姫バスとの連絡で対応する



たにもと まさし 議員

質問（谷本）

高速艇の減便（昼間なし）で町民はとて不便になっている。

ますます高速艇の利用を少なくなり、悪循環に入り込んでいく。

減便の申し入れがあった

【問】 子供の立場に立った島の教育、思考を促すべきと思うがどうか

【答】 子供たちにとって最善の方法を取り組む

質問（谷本）

以前はゆとり、ゆとりと盛んにいわれていたが、最近は学力重視の教育に変わっている。本来学校教育

の最大の目的は学力の保障だと思ふ。

学力の低下の原因が6、3制、3学期制にあるとの考えから、小中一貫校、2

問 町民への行政情報の説明は欠かせないのでは

【答】 行政懇談会は開かない

質問（谷本）

兵庫県小野市の行政改革について調査した。

情報は市民の財産と考え、特定の団体にこだわらず、市民から平等に要望、苦情を受け、文書による回答をしている。市政懇談会なども開き情報の公開に取り組んでいる。行政懇談会を開き資料と

学期制など安易に制度を変え、旧来の制度はそれぞれ長年日本に定着した立派な制度だと思ふ。制度を十分に生かすことによつて、学力の保障は出来ると思ふが。

答弁（教育長）

今のところ制度を変える考えはない。最近家庭の教育力の低下がいわれているが、家庭と学校の役割分担を検討したうえで、家庭の教育力の充実に取り組んでいく。

構想を示し、責任者として説明をすべきだ。人口5万の小野市で出来ることが人口90000のこの町で出来ないことはないと思ふが。

答弁（町長）

ばら色を描いた合併時の状況だったが、現状は大きく変わった。今まで各種団体と話し合ってきたので、一般町民を対象にした懇談会を開く気はない。

問

古くなった木江会館を今後どのようにするの

【答】 より良い方法を検討する

質問（谷本）

木江地区の中心部には手軽に使える集会施設は木江会館しかない。使用頻度もとても高い。難点は、建物が小さく、多人数の集会になると手狭な点と、複数の団体が使うには部屋数が足りない。

建物も随分古くなっている。早急に改築計画を立てるべきだ。

答弁（町長）

県道拡幅の予定もあるのが具体的に年度は示せない。

問

定住促進に向けて、今後どのように取り組むのか

【答】 積極的に進める

質問（谷本）

県は定住人口の増加を目的に昨年度から観光ツアーに取り組んでいる。今年度はわが町も参加する。定住促進に即応できる環境を整えることが大切だ。

空き家情報の収集に取り組んでいるとのことだが、定住促進に向けて情報の収集と発信をどのようにするか。

答弁（商工観光課長）

広報で空き家情報の提供を呼びかけたところ、早速情報提供があった。積極的な情報収集と、県の交流定住ポータルサイトなどへの情報発信に努める。

問 どうなる空き校舎

〔答〕 検討委員会を作りたい



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

〔答弁（総務課長）〕

3つの空き校舎の再利用は考えていく必要があると思いますが、再利用するとしても耐震力度調査が必要な校舎もあります。また、取り壊すにしても相当の費用がかかりますし、維持していくにしても維持費、管理費がかかります。総合的に考えて一番いい方法を皆さんで考えていただきたい。そのためにも、議員をはじめ地元の方を含め、検討委員会を作って検討します。

質問（渡辺議員）

平成20年には西野小学校が大崎小学校へ、平成21年には東野中学校、木江中学校が大崎上島中学校へ統合されます。そのため3校舎が空き校舎となるが、これらの校舎について再利用の計画はあるのか。

〔答〕 動きはありません

質問（渡辺議員）

12月定例議会以降の経過報告を求める。

〔答弁（町長）〕

12月定例議会以降動きはなく、状況は変わっていません。

問 エビ養殖場埋め立ての経過は

質問（熊佐議員）



くまざき たかのり 議員
熊佐 尊徳

現在の地方自治体には健全財政の確立が急務と言われます。予算編成に当り合併時の新町建設計画の目玉である中学校の統合校舎、高規格装備の救急艇の建造、特別養護老人ホームの増床等の基盤整備を予算化する

努力はしています。事は評価します。歳入増加が見込まれない現状では、それに見合う行財政改革を同時並行させない限り、170億円に近い借金体質を改善させる事は出来ません。18年3月定例で、建設委託料、コンサル料の半減、特別職や職員の給与や人数の見直し、入札制度、各種補助金の見直し、不必要な残業の廃止、町有財産の払い下げなど10点の削減項目を掲げました。町長のリーダーシップで何億円かを削減するべきと提言しました。1年経過した現在、その成

問 予算編成と行財政改革

〔答〕 努力はしています



西野小学校



木江中学校



東野中学校

果はどの様に出ているのか、上島町行政改革推進協議会の状況は。

〔答弁（町長）〕

各項目について努力はしています。委託料、コンサル料は最低価格を設定せず減額しており、各種補助金は16年度と比較すると8千万円位減額しています。又、リースの見直し、町有地の払い下げ、残業の削減も行なっております。いずれにしても地方債の残高が毎年5億円増加しているため、入札のあり方も含めて各項目について精査していきます。



救急艇

問 法令順守について

答 改善します



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

更改の予算化しています。その事実経過とその後の検討は。違法が明らかであるのに、4年間もかけて改修するのはいかなるものか。

答弁（町長）

原因は03年の合併時に検定切れメーターが3, 200個あり、03年から順次改修しており、07年度の経費は450万円です。

合併前にメーターの管理体制に一貫性がなかったことが一番大きな問題です。改善に取り組みます。

質問（赤松議員）

12月議会で私が水道メーターの法定検査切れの指摘をし、07年度予算で13mmのメーターを750箇所、学校・役場支所など、径の異なるメーター約200箇所

問 住民説明会開催を

答 開催しない

質問（赤松議員）

地方議会の活性化に関する調査結果では（04年1月現在）、議会が住民懇談会を128町村（5・1%）で実施し、住民アンケートも292町村（11・7%）で行なわれています。大崎上島議会としても検討して

います。町財政が将来的にどうなるか、住民説明会を開催し説明すべきでは。

答弁（町長）

各種団体に対し、町の財政状況を説明する中、合併時に約2億5,000万円あった補助金を、現在では1億数千円削減した。説明会は開催しない。

問 交通の利便性を

答 増便は困難です

質問（赤松議員）

①高速艇減便のため明石地区住民は不便になった。明石地区交通手段をどのように検討したか。

②携帯電話を多くの人が持っているので霧・強風・欠航中など船情報をメール発信し、島民や島外の人も含めて利用すれば利便性は増すのでは。

答弁（町長）

①減便の理由は1航路当た



り数千万円の燃料費が高騰しており、また昼間の乗船客も減少しているの減便はしかたない。

答弁（企画課長）

②メールは不可能なので検討しておりません。

再質問（赤松議員）

現在企業などは何千人もメール発信している。何も調査せずに不可能と断言は言い訳にならない。

再答弁（町長）

運航会社がサービスをすべきだが、船会社と協議します。

問 若者の定住について

答 住宅用地を確保します

質問（赤松議員）

若者の定住は雇用と同時に子育ての条件が整っていることが重要である。

2月に視察に行った徳島県上勝町（人口2,000

人）は、定住対策として廃校舎を改築、5年間で70人ぐらい戻った。

若い人は町営住宅を望んでいる。



水道メーター

答弁（町長）

今年度は沖浦地域に20区画、将来大串地区にも住宅用地を確保します。住宅は自己負担が定住への基本的な考え方です。

問 町財政について

答 赤信号と言えらる



まつばら じげる 議員
松原 茂

りませんが、これ以上維持費のかかる箱物は慎まなければなりません。町民一人当りの借金は64万円です。町の財政状況を信号機に例えると何色になるのか。

答弁 (町長)

2・7%の増は、救急艇や統合中学校の建設が主なものです。今年も17億円ほどの借り入れがあります。非常に窮屈な財政運営で、もう赤信号と言えらると思えます。

質問 (松原議員)

呉市など緊縮型予算を組んでいる中、我が町は一般会計で2・7%の増、竹原市は0・9%増の予算編成をしています。限られた財源で事業を進めなければなら

答 協議を進めます

質問 (松原議員)

2年後に豊島大橋の開通により大長―明石間のフェリー減便問題が浮上してきます。利用者の減少により、最悪の場合、航路廃止が予想され

答弁 (町長)

豊島大橋開通により、人

ます。船会社からの相談はありましたか、また、8号橋の推進について、町長の所信は。

問 大串干拓について

答 町が責任を持つ

質問 (松原議員)

業者の撤退により業者が持っているデーターなどの提供はあったのか。干拓堤防の保全上調査が必要と思



明石港待合所

の流れが変わることは予測されます。農業者にとつては大長航路の必要性はあります。乗船客の利用状況によつて減便は当然あると思

答弁 (町長)

すべてのデーターは所有者と町が受領して保管をしております。動態観測業務を実施し、費用は年間150万円程度を予定しております。堤防に対して十分な目配り、気配りをしてまいります。

問 幼稚園の統合について

答 統合は考えてません

質問 (松原委員)

少子化による幼稚園の統合も真剣に検討しなければならぬ時期に来ており、保護者、関係者も含め、教育委員会を中心に検討委員会の設置を提案します。少子化対策としては、親が一番最初に読んで聞かせるファーストブックを贈って



答弁 (教育長)

保育年数及び公立と私立の違いがあり、複雑で調整が難しいという思いをしています。認定こども園という制度ができていますので、うまく解決ができないか検討をしているところです。

答弁 (町長)

ファーストブックの提供は育児に非常に好ましいと思います。当然これは福祉政策の一部として、保健師と協議を進めます。



問 複合施設設計画について

〔答〕 後年度負担軽減の検討をする



ふくすむ すすむ 議員 福増 進

質問（福増議員）

合併当時から委員会として、調査研究をしている健康増進複合施設の建設は、実際要るのかなと思うし、一部住民の方からは、いつになったらできるんか？早くやつてもらわにゃ困る、という声も聞きますが、今のこの厳しい財政状況の中で、どれだけの自主財源持出を見込み、後年度負担を調査研究し、建設費も有利な補助金制度を活用するよう検討すべきでは。

答弁（町長）

健康増進複合施設は、当

然必要な施設だと思っておりますが、年間維持管理費が数千万円かかり、後年度の財政負担増となります。医療制度が給付主体から、健康保持という視点へのスタンスが変わってきており、国と県との協力が得られれば、後年度負担を最小限に切詰め建設できるのであれば前向きに考えます。

問 給食センターの今後は

〔答〕 統合の計画はありません

質問（福増議員）

教育長は、中学校統合時給食センターを1つにする」と答弁したが、今回は各学区単位でそのまま残す方向で答弁しましたが、改めて伺います。

答弁（教育長）

給食の調理場については、以前質問がありました。統合しても大崎の給食センターで調理はできますが、統合するとは言っておりません。現時点では計画はありません。

産業建設常任委員会

2月19日
～21日
那覇植物
防疫事務所

県外視察研修報告

球温暖化によってこれらの害虫が北上している事です。私たちの身近に起きているかも知れないので十分気を付けてください。

次に、沖縄北端の国頭村

（くにがみそん）に高額販売されているマンゴーを生産している農業生産法人フルーツファームサンシルズ沖縄のハウスを訪問し研修しました。

一大生産地を目指し、作物の生産効率の安定や農業従事者地域特性を活かした特色ある農業の振興を推進して行きました。

平成7年開園

○栽培面積

49,740㎡

○初期投資金額

1億5千万円

○年商売り上げ

1億7千万円

（1個原価1,800円から2,000円）

○年商売り上げ目標

2億円以上

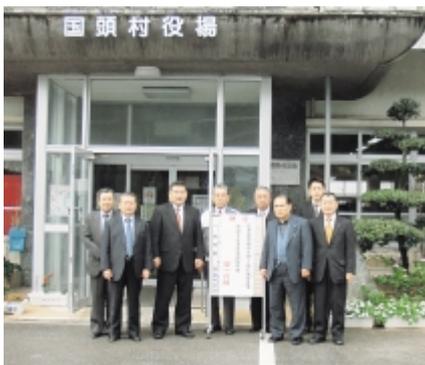
○従業員

14名

○苗木年間出荷本数

15,000本

大崎上島町にも接木能力があるので、苗木栽培出荷できればと思います。色々と問題点はあると思いますが、一考すべきではと思います。



国頭村役場

県外視察研修報告

2月7日
～9日

兵庫県 小野市
徳島県 上勝市
高知県 南国市



07年2月7日から9日にかけて、財政改革・空き校舎利用・学校給食と地産地消などを目的とした、県外視察を実施しました。それぞれの内容について概要をお知らせします。

◇入札改革と職員の意識改革で財政再建

兵庫県「小野市」全国でもいち早く財政改革を成し遂げた市として有名です。小野市の部長の説明によると、現市長となつて行政運営を「経営」と捉え、徹底した入札改革と職員の意識改革によつて、7年間で117億の節約、また、可能な限りの職員削減を実行したとのこと。

その経費節減で浮いた予算を福祉・教育の予算に充当し、削減で不足する人的要因は、「時間買取型雇用」

と「知識買取型雇用」とに分けて、年間委託契約によつて、充当しているとの説明。

住民に対するサービスを低下させて経費節減でなく、節減によつて生まれた財源を独自サービスに充当するという行政姿勢は大いに学ばねばなりません。

又、入札改革は市長なり町長の覚悟が必要であり、中途半端では効果が上がらないこと、また、買取型の雇用によつて、さまざまな人材が育成され、発掘されていることなども重要な研修のポイントでした。

◇工夫次第で若者定住

徳島県「上勝町」彩り産業で非常に有名な町であり、まさかこんな所だと思うほど急峻な山間地の四国で最も小さな町です。

若者定住促進として、閉校となつた小学校の校舎を改築して、住宅を提供しUターンやIターンを受け入れていきます。町の小学生の半数以上は、Iターン者の子どもとのこと。

インターネットで呼びかけ、全国各地から多くの希望者があつたことから、校舎跡地にも住宅が建設されていきました。

これほど条件の厳しい所で、島でも絶対やれると、全員大きな元気をいただきました。

工夫する心と自信を持つて、過疎の町の自立に向けて大いなる参考としたいものです。

◇食育で「ひと」を育てる

高知県「南国市」食育教育で、週に3組も4組も視察者の訪れる市です。

南国市の教育長から、給食の始まった時の役割は終わつており、給食は変わるべき。食べ残しの多さもあがり、全て米飯給食で始めたが、相当の抵抗があつた。

現在は、南国市の中山間地の米を買い取り、全校全て米飯給食を実施している。地元の産品を可能な限り使う事で、生産者の顔や苦勞も浮かび、環境問題にもつながり、人間性を育み、生産者の育成にもつながっているとの説明でした。

食や環境を通して、郷土を誇りに思う人間性を育てたいものです…。

町で、島で、頑張ればまだまだ可能性の大きいことを痛感させられた研修となりました。



総務福祉文教常任委員会報告

委員長：中村修司 副委員長：福増 進
委員：藤原龍秀 土井田聖次 赤松良雄
谷本 昌 渡辺年範

07年1月から3月にかけて行われた委員会の調査内容および協議事項についてお知らせします。

◇開発センター改築工事延

長の原因は

3月末完成予定の開発センター工事が、約1ヶ月工期延長されることとなり、工事現場において、現地調査を実施し、説明を受けた。基礎工事段階で工法の変更などが原因とのことであったが、遅延となった責任の所在を明確にするよう強く要請した。



開発センター

◇デジタル放送について

企画課においては、デジタル放送が07年に開始されることから、難視聴地域調査の内容について協議し、ギャップファイラー（簡易アンテナ）の導入なども含め、早急に対処するよう要請した。

◇中学校修学旅行での交流事業、08年度で見直し

北海道中頓別町との中学生による交流事業が継続されてきたが、人的要因や費用などの問題から、07年度の実施を最後に見直しされることについて協議を行なった。

◇公民館事業について

公民館事業が36団体で実施されているが、実施5年をめどに、補助を打ち切る方針が提案され議論。活動が停滞することの無いよう対処することが求められた。

◇放課後児童クラブについて

これまで福祉課を窓口と

して実施されてきた放課後児童クラブが、放課後子どもプランとして、教育委員会において実施される。これまで単独町費の負担だったが、国の補助事業となり町の負担は軽減されるが、利用する子どもや保護者にとつて、利用時間や夏休みなどの対応が悪化しないように求めている。

◇「大崎上島町国民保護計画」策定される

有事の際の指揮体制や、行動計画を定めた町の保護計画が策定され、その内容について報告された。海上保安庁との連携などの特徴的な部分や、策定費用が当初の計上予算より大幅に削減されたことなどが説明された。

◇前納報奨金が段階的止

町県民税や固定資産税の前納報奨金制度が設けられてきた。しかし、口座振替が圧倒的となり、県内でもほとんど廃止されているこ

とから、07年度町県民税、08年度固定資産税の前納報奨金廃止について説明された。存続をとの意見もあったが、致し方ないとの方向で確認。

また、所得税法の老年者控除の廃止などによって、町民税が約2千万円増収となったこと、造船等の好況により法人税が約4千万円増収となる事が説明された。

◇常任委員会の在り方は

委員会の開催が適法でなく、越権行為となっているのではとの提案があり協議した。結果、常任委員会決定する事案は、「付託」が必要であるが、調査研究は一括の継続承認で今後も開催することを確認した。執行部から提案された事案を審議するだけでなく、独自の調査によって、町の可能性を追求することが議会・議員の重要な任務であることを、時間をかけて論議した。

以上で報告とします。

産業建設常任委員会報告

委員長：信谷俊樹 副委員長：辰田信司
委員：蒔田篤雄 熊佐尊徳 松原 茂
浜田明利 増本 真 西田 巧

委員会では、現在の問題点や新規事業の入札状況、繰越事業、条例改正の説明を受けて協議検討をしています。

建設課については、18年度補正予算と19年度当初予算の内容の説明を受け、財政状況と絡め審議検討しました。当該年度工事の進捗状況及び工期延長等の手続きや今後の事業説明を受け審議しました。また、急傾斜地崩壊対策工事の基準等についても協議しました。

住宅家賃の未収問題については対応策として、長期滞納者に対して今後法的措置等の方向性を早急に検討するとともに、連帯保証人に連絡をとりながら完納に向け努力するよう指摘しています。



急傾斜地対策工事

農林水産課については、18年度補正予算と19年度当初予算の内容の説明を受け、財政状況と絡め審議検討しました。工事関係については、入札状況の説明と今年度内工事完了に向け検討した。今後の農業委員会についての方向性を検討審議して、土地の使用売買許可及び農業振興推進事業計画等の説明を受けた。また、新規農業参入等についても協議を行った。

上下水道課については、18年度補正予算と19年度当初予算の内容の説明を受け、財政状況と絡め審議検討しました。工事関係については、事業の進捗状況と道路占用、埋設許可の手続きが法に基づいて行なわれているか調査した。上下水道使用料については、滞納者に対し法的措置等の強行手段を検討するとともに徴収計画書の提出を求めた。

商工観光課については、18年度補正予算と19年度当初予算の内容の説明を受け、財政状況と絡め審議検討しました。直営で管理している施設については、収支決算書の提出を求めるとともに、今後は指定管理者制度を活用するよう求めた。

交流事業については、実行委員会方式で行なっているが内容の充実を検討審議した。自然公園施設維持補修の補助について今後全ての施設に対して行なうかどうか、また、総合的に判断する為には事前に工事内容等の説明するよう求めた。



ふじ棚

お知らせ

優良町村議会表彰

大崎上島町議会が優良町議会として、全国町村議会議長会より表彰をうけました。

全国町村議会議長会 自治功労者表彰

議員在職30年以上
谷本 昌 議員

議員在職15年以上
中村 修司 議員

平成19年1月20日付
けで森川 家忠議員
(副議長) が辞職されました。

このことに伴い、副議長及び議会運営委員会委員長が次のとおり決定しました。

副議長
増本 真 議員

議会運営委員会委員長
赤松 良雄 議員

議会の動き

1月1日から
3月31日までの議会の日程です

1月

- 4日 大崎上島町成人式
- 5日 第4回大崎上島小中高新春書初め大会
- 7日 大崎上島消防団出初式
- 9日 竹原広域行政交通問題特別委員会
(竹原市)
- 11日 書初め大会表彰式
- 12日 広島県町村議会議長会役員会(広島市)
- 16日 広報委員会
- 17日 広島県町村議会議長会議長会
- 18日 新年賀詞交歓会(東広島市)
- 22日 議会運営委員会 広報委員会
- 23日 産業建設常任委員会
- 23~25日 広島県町村議会議長会行政視察(沖縄県)
- 26日 総務福祉文教常任委員会
- 30日 第1回臨時会
- 2月
- 3~4日 すみれまつり
- 6日 広島中央広域全員協議会・定例会
- 7~9日 総務福祉文教委員会視察研修
(小野市・上勝町・南国市)
- 11日 大崎上島駅伝大会

3月

- 13日 広島県町村議会議長会臨時議長会
- 14日 議会運営委員会
- 16日 広島県町村議会議長会議員研修会
- 19~21日 産業建設常任委員会視察研修
(沖縄県那覇市・国頭村)
- 22日 竹原広域行政組合交通問題委員会
- 26日 竹原市議会と大崎上島消防署視察
- 27日 総務福祉文教常任委員会
- 28日 竹原広域行政組合定例会
- 1日 大崎海星高校卒業式
- 2日 議会運営委員会
- 3日 大崎上島町障害者スポーツ大会
- 6日 産業建設常任委員会
- 7日 第1回定例会(1日目)・全員協議会
- 8日 全員協議会
- 11日 大崎ライオンズクラブCN40周年記念式典
- 13日 議会運営委員会
- 15日 第1回定例会(2日目)
- 16日 第1回定例会(3日目)
- 18日 大崎駅伝大会
- 27日 大崎上島消防署落成式
- 28日 広島県後期高齢者医療広域連合総会
(広島市)

編集後記



最近、地球環境への配慮や、マナー
|| 公德意識の低下

を注意する意味からも、ゴミなどのポイ捨てが反省され、「もったいない」という言葉が復活の兆しを見せてきました。この「もったいない」という考え方を、けちけちすることと同義のごとく解釈する向きもありますが、両者は全然違うものです。

「勿体ない」という言葉は日本で作られた語句で、「勿」は「物」と同じことを表す字です。したがって「勿体」は「物体」に通じます。ものが本来持っている価値、つまり「もののいのち」とも言うべきものを、生かし切れていないこと、と解釈できましよう。

また、かつては「有り難や勿体なや」とは、神仏の前に詣でたときに発する言葉でした。これは神聖なものを我が身の拙さと引き比べて、ということですね。

ところで、日本語としては物体を、勿体はというように漢字を読み分けております。読み方と漢字を使い分けることは、語の持つ含蓄と色合いを豊富にするための知恵でしょうか。「勿論」と「物論」では、読み方の違いに応じて意味内容も全く違う日本語になります。勿体の命を生かし、くれぐれも「もったいない」ことにならぬよう、大切に扱っていくことにしたいものです。

ただし、自分に勿体を付けたたり勿体ぶったりしないよう注意が必要です。